

全 学 共 通

国 語

(60分 100点)

注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ② 解答にはH BまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルはH BまたはBの芯であれば使用可）を使用しなさい。
- ③ マークシートの解答用紙には、氏名、受験番号、科目を記入する欄と受験番号、解答科目をマークする欄があります。
- ④ 解答方法は、マーク式（解答番号を選択する方式）です。マークシートの解答用紙にマークしなさい。
- 例えば、**10**と表示のある問いに対して③と解答する場合は、下の（例）のように**解答番号10の解答欄の③にマーク**しなさい。
- ⑤ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高くあげて監督者に知らせなさい。

（例）

解答番号	解 答 欄									
1 0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

※ 問題に使用した文章の表記は、一部改めた場合がある。

国

語

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、筆者は本文の直前で、ロスアンゼルスハリウッドにユニバーサル・スタジオという映画のオープン・セットがあることについて触れている。

さまざまな映画セットを通過して、車がメキシコ村のオープン・セットに差ししかかったときのことだ。古びた石造りの家々の立ち並ぶ敷石の山道の上方から突如、何十トンもの水がしぶきをあげて流れ落ち車を直撃した。洪水のシミュレーションである。

人々はここでも歓喜し、私も子供心を掻き立てられる。**X**メキシコ村を立ち去る間際、マイクを握ったガイドが「このメキシコの家や道を造っている岩や石は本物ではなく、全部イミテーションです」と解説を加えたときのことである。アメリカの人々の中からいつせいに感嘆の声があがったのだ。

人々の反応には、本物に見えたものが偽物であったことに対する驚きというより、
に対する陶酔感が濃厚だった。歓声の方々から聞こえた「フアンタスティック」という言葉はそのことをよく表していた。

アメリカに着いて五日目の出来事である。

私は、ある事物が偽物であるということに、そのようなかたちの情動を示したアメリカ人の感覚を面白いと思った。日本人の私はそのとき「なんだ、本物の石じゃなかったのか」と一瞬気持ちのどこかで興ざめしていたからである。それがアメリカにおいて出会った最初の小さな謎である。そして私はアメリカ全土の旅行に出かけることになる。さまざまなアメリカ的な経験をj経て、再びロスアンゼルスに戻ってきたのは七カ月後のことである。

七カ月という期間がこの大きな国を捕捉するために費やされた時間として長いか短いかはわからない。しかし、その間に私はアメリカという国の本来的に持ついくつかの特性を掴んだという気がしている。その中の一つがああ謎のことだ。ユニバーサル・スタジオで経験した奇妙なアメリカ人の感性。それは旅行のちあつけなく氷解していた。というのは、私は二万マイルに及ぶ旅の中でアメリカ人というものがことのほか現実を離れた擬似現実や空想を好む変わった国民性の持ち主であることを知ったからである。

このことは、かりにアメリカ本国を訪れた者ではなくとも、アメリカという国によってもたらされた二〇世紀のさまざまな商品や文化を通して理解のいくところのものだろう。たとえば今日では世界全土を席捲している清涼飲料水コカ・コーラやペプシ・コーラは合成飲料であり、また元来禁酒国のアメリカにおいて発明されたワインの類いのイミテーションである。

アメリカ産、世界の子供のヒーロー、ミッキー・マウスやドナルド・ダックはネズミやアヒルのイミテーションであり、そのミッキーや

ドナルドの住むデイズニールランドもさまざまな世界を模擬した空^{イミテーション} 想の国である。視覚メディアに目を移せば、たとえばアメリカ映画ほど空想とフェイクに満ちたものはない。

《中略》

なんだ、この国においては文化のみならずアメリカという国そのものがイミテーションだったのじゃないか。この国はひよつとするとあのユニバーサル・スタジオのように世界の街々がある巨大なる映画のオープン・セットなのではないか？

これはひとつの示唆と言ってよいだろう。

人類の歴史にはさまざまな国家が興亡を繰り返してきた。そしてそれらの国家やそこに生じた文化というものは、およそこれまで現実や自然を規範としたものであり、それは人間が生を営むうえでの不可欠な原則であった。つまり「現実原則」の中での生活こそが人間にとつての聖性であり宗教であるという生活を人類はこれまで繰り返してきたのである。

ところが二〇世紀において西洋の、その極西に、^A非現実を原則とする文明が^a忽然と現われたのだ。思うに、これは明らかに革命である。そして我々の今日はすべてここからはじまった。

それではなぜ、このアメリカという国において模擬的現実を規範とする文明が生じ、拡大したのだろうか。

まずこの国がそもそもある別の国々のコピーとしての出発点を持っていたことは、生活文化の性格を最初に決定づけた大きな要素だったに違いない。さらに言えば、初期から中期のアメリカにおいてはコピーをオリジナルに近づける努力がなされなかったという形跡が見られる。時間、人手、金、物量、すべてに事欠いていたからである。

Y

パンを焼く人手と時間に事欠いて、手っ取り早くできる急場しのぎのパン、「ホット・ケーキ」というパンのイミテーションをこの国の人々が発案したように、衣食住全般に彼らは本物に似せたインスタントな偽物を、まるで映画の小道具のように大量に作りつけ急場をしのいだのである。このような歴史的過程の中でやがてコピーそのものが環境となり、それがオリジナルとなる倒錯文化が成立することになる。たとえば^(注)ポップアートはその倒錯感覚の美学上での結実である。また、この模擬的環境は、アメリカという変わった特性を持つ国が管理運営されるうえにおいて、マイナスではなく、むしろプラスに働いた形跡がある。つまり多民族で構成されるこの国において、ある機構や事物が異なった民族に^bあまねく汎用されるためには、それが偽物であるほうがよかったのである。ある事柄が個性を持ったオリジナルであればあるだけ、それに感応する人間の種類はおのずと限

定され、流通の範囲も限定されるからだ。合成飲料のコカ・コーラがアメリカの多民族間には言うに及ばず、世界の多民族間に多大なシェアを獲得したことは **B** その単純な原理をよく表している。

先のユニバーサル・スタジオの一件を例にあげるなら、個性豊かな石造りのメキシコ村はそれが本物であるうちは、雑多な人種で構成された車上の人々にとつて、好奇心を満たすだけのよそよそしい異郷にすぎない。しかしそれが偽物であると判明した直後から、“みんなと一緒に住むことのできる村”となるのだ。ちょうどアメリカという“村”が擬似現実的であることによつて雑多な民族の共生を許しているように。

またこの擬似現実的環境は簡単に抹消でき、新しい異なつた環境へと作り替えることが容易であることも“アメリカの条件”に ^{かな}適つていたと言える。過去にはなく未来に向かつて ^{ベクトル}時間軸を持つアメリカ文明によつて、変革は不可欠な条件であるからだ。この国においては事物の奥深くにひそむ ^{注2}エートスではなく、外部にまとつたものの変質が人を喜ばせ金を落とさせてきたのだ。そして何よりもこれらの可変的な擬似現実とは、同じものを大量に作り、大量に流通させるというアメリカ資本主義の原理にも適つていた。

かくして ^{イミテーション}擬似現実とは新たな「聖性」である。

それはすでにアメリカ人によつて快適で美しく、感動的でさえある。なぜなら擬似現実とは、現実のように直接それがそこにあり、人間を支配するのではなく、それが無いことによつてイメージや空想を掻き立てる媒体として人間をずっと自由にさせるからだ。メキシコ村の見学者の何人かが、それを「ファンタスティック」と叫んだのは、それがイミテーションであつたことによつてイメージの飛翔が可能になつたからである。ハリウッド映画の書き割り画面が本物のロケーション場面よりもファンタスティックな気分を与えるのと同じように。

しかし、ここで留意しておかねばならないことが一つある。擬似現実を目の前にしたときにもたらされる人々のイメージが ^{オリジナル}現 ^{いばら}実に近づくために何らかの困難な努力を惜しまないかということだ。むしろ人々のイメージは現実という棘の世界を避け、より柔らかな快適な世界を選ぶだろう。もしくはそれに自分によつて都合のよいイメージを付加することだろう。彼らがネズミに地上の天使のイメージを付加したように。

おそらく、**C** それがアメリカ人好みの「ファンタジー」の正体である。

(藤原新也『アメリカ』による)

(注) 1 ポップアート——大衆消費社会のイメージを主要な主題や素材とした芸術作品のこと。

2 エートス——ある社会集団・民族を支配する倫理的な心的態度。

問 1

X Y に入る言葉として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 1 2。

X

1

① しかし

② たとえば

③ あるいは

④ ところで

⑤ したがって

Y

2

① つまり

② しかも

③ たとえば

④ だが

⑤ なぜなら

問 2

波線部 a b の本文中の意味として最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選びなさい。解答番号は 3 4。

a 忽然と

3

① 知らぬ間に

② 人目を避けて

③ たちまちのうちに

b あまねく

4

① あるがままに

② 間違いなく

③ 従来通りに

④ 隅々まで

問 3

文脈上、 に入る言葉として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は 5。

- ① 目に映る擬似現実世界が、倒錯した感覚をもたらしたこと
- ② 偽物であると知りつつも、偽物が本物らしく見受けられたこと
- ③ 眼前の世界は現実ではなく、可変的な擬似現実であること
- ④ 目の前から一瞬にして重厚な現実が消え、非現実に包まれたこと
- ⑤ 非現実を原則とする現実、多民族の共生を可能にすること

問 4

「A 非現実を原則とする文明」とあるが、その「文明」とはどのようなものか。その内容の説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は **6**。

- ① 同じものを大量に生産して大量に消費することで、資本主義の原理に適合するようにして築き上げられたもの。
- ② 文明の時間軸を過去にはなく未来に向けることを不可欠の条件とすることで、新たな文明の存立を図ったもの。
- ③ 多民族で構成される国家を管理運営するため、それぞれ異なる文化を模倣的現実の規範とすることが規定されたもの。
- ④ 本物で満たされた環境を整える手間を省き、大量生産されたコピーで間に合わせようとする動きが一般化されたもの。
- ⑤ コピーが大量に生産されることでコピーそのものが環境となり、それがオリジナルとなるような倒錯したもの。

問 5

「B その単純な原理」とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は **7**。

- ① あるものが多民族に広く用いられるには、それが個性を持ったオリジナルではなく、偽物である方がよいこと。
- ② 多民族国家においてコピーをできるだけオリジナルに似せることで、人々は個性豊かな生活を送るようになること。
- ③ ある事柄が個性を持ったオリジナルである場合、そのことに関心を持つ人間はごくわずかしいないこと。
- ④ 独自の文化を持つ複数の民族で構成される国家において、ある民族が他の民族の文化を受け入れるには限界があること。
- ⑤ 本物に似せた偽物を大量に作り続けることで、人手と時間の不足を解消し、商品の大きなシェアを獲得できること。

問 6

「C それがアメリカ人好みの『ファンタジー』の正体である」とあるが、「『ファンタジー』」とはここではどのような世界のことをいうのか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は **8**。

- ① 現実世界の中にある街を巨大な映画のオープン・セットに改造することで、非現実的な空間が浮かび上がる世界。
- ② ハリウッド映画を見て空想を広げ、現実になづくための困難な努力を惜しみなく続けることに価値を見いだす世界。
- ③ オリジナルを模したイミテーションを用いて身の回りを埋めつくすことで、手取り早く急場をしのぐとする世界。
- ④ アメリカという国そのものを映画の装置に見立て、そこにおける体験はすべて空想であると思いついてしまう世界。
- ⑤ 重い現実には支配されず、擬似現実を媒体とすることによって空想を自由にふくらますことができる快適な世界。

問 7

本文の内容に合致するものを次の中から一つ選びなさい。 解答番号は 9。

- ① イミテーションが人間にとっての聖性となるのは、オリジナルとしての現実世界で繰り返される日常性から脱却しようとする人間の空想志向によるものともいえる。
- ② 自分たちに都合よく作られた偽物にばかり取り囲まれていると、人間にとってそれが世界そのものと感じられ、厳しく困難な現実を遠ざけようとする傾向が現れる。
- ③ 人間が本来イメージを掻き立てて生きているものである以上、人間は現実そのものの中では生きることができず、空想の世界に逃避するのも当然のことといえる。
- ④ アメリカ文明がいかに「現実原則」を逸脱したものになっているとはいえ、それをことさら現代の文明の一般的なあり方との関係において考察を試みる必要はない。
- ⑤ アメリカ資本主義は、絶えず未来に向かうベクトルにそって自らが豊富に持っていた様々な資源を思うままに使うことができただけで、コピーの大量生産が可能になった。

二

次の文章は宮崎市定『中国史』の冒頭部分である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の都合上削除

著作権の都合上削除

著作権の都合上削除

著作権の都合上削除

問1

波線部 a ～ c の本文中の意味として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 10 ～ 12。

「a 概に」

10

- ① ひっくり返す
- ② 一番はじめに
- ③ 細かい点で
- ④ 最後まで
- ⑤ 瞬時に

「b 裏付け」

11

- ① 確認のきつかけ
- ② 確定の意志
- ③ 承認の手続き
- ④ 認識のきつかけ
- ⑤ 認定のよりどころ

「c でつち上げた」

12

- ① 事実だと分からないように作った
- ② 他人の考えを借りてきて作った
- ③ ないものがあるように作った
- ④ 内容が虚しいまま作った
- ⑤ 間に合わせに形だけを作った

問 2

X

に入る言葉として最も適当なものを、次の中から選びなさい。解答番号は **13**。

- ① 厳正中立 ② 公明正大 ③ 針小棒大 ④ 大所高所 ⑤ 大同小異

問 3

Y

に入る言葉として最も適当なものを、次の中から選びなさい。解答番号は **14**。

- ① 化学 ② 合理化 ③ 個性 ④ 細分化 ⑤ 総合

問 4

A 「歴史学とは時に関する研究だ」とはどういうことか。

番号は **15**。

その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答

- ① 一見無関係な、遠く離れた二地点の間で起こった出来事も、安易に諦めることをせずに、運搬技術、文明の発展する速度、国々の関係などを踏まえ時間をかけて考えれば、その関係の糸口が見いだせるということ。
- ② 運搬する量が倍増するにつれて、必要とする時間が半減するように、歴史の空間と時間を考える際には、時間と技術の概念の不可分な結びつきを無視して考えることはできないということ。
- ③ 空間的に隔たった場所の出来事をつけて説明する際に、空間的な側面だけを見ていては困難かもしれないが、そこに歴史的な時間の積み重ねを加味することで、それが可能になるということ。
- ④ 広大な空間で起こっている歴史的な出来事を一つの時間的尺度の中で集約する際に、その時間的尺度は、学者毎に設定された

個性的な捉え方に基づくものであるべきだということ。

⑤ 古代へ行くほど社会の変転が緩やかだが、現代では目まぐるしく変転していることから分かるように、文明の発展は時代によってその速度が異なるということを忘れてはならないということ。

問5

「B 人間の頭の働きには大体二通りの方向がある」とあるが、これについて筆者はどのように考えているか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は 16。

① 人間の頭の働きには、海外から伝わったものをそのまま受け入れる姿勢と、伝わったものをあたかも日本由来のものとして論じる姿勢があるが、後者については歴史研究の上では危険であるとその見直しを主張している。

② 人間の頭の働きには、具体的な事実に対してそれを軽んじる歴史学者としての見方と、具体的な事実を理解しやすいものとして重んじる一般的な見方があるが、後者の見方がなかなかなくならないことに対して危惧している。

③ 人間の頭の働きは、具体的な事実を安易に捉えがちで、抽象化することを避けがちだが、双方とも歴史の理解については不可欠なので、具体的に捉えた後に慎重に抽象化することをすすめている。

④ 人間の頭の働きには、事実を抽象化する方向と、具体的な事実を理解しやすいものとして捉える方向があるが、前者は学問的に重視され、後者が軽視されることに対しては、歴史研究者の立場から批判的である。

⑤ 人間の頭の働きは、抽象的な観念論と、具体的な唯物論という二つの論に向かうが、戦後の日本のようにそれらが混同することに対してそこにはらむ危険を訴えながら国家の危機的なあり方を説いている。

問6

「C 歴史上の座標軸になる線は、幅もあり、重さもあり、何よりも学者の個性が滲^にんでいるものでなければならぬ」とあるが、「歴史上の座標軸になる線」に「学者の個性」が滲むのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号は **17**。

- ① 歴史的な事実と同じであっても、その事実が持つ意義についてはそれを研究の対象として扱う人によって評価が異なるから。
- ② 歴史に対する認識は、歴史を圧縮した年表さえ覚えれば習得できると思う者から、様々な側面から深める者まで様々だから。
- ③ 歴史を研究する者によって歴史に対する考え方は様々なので、それによって歴史的事実の有無さえも変わってしまうから。
- ④ 歴史を地図と同様の原則ではなく、歴史に沿った原則を設定しない限り、個性的な見方を接ぎ合わせることはできないから。
- ⑤ 歴史を捉える際に用いる座標軸は、単なる数学的な二点間の最短距離ではなく、そこには幅が存在し、長さも様々だから。

問7

本文の内容に合致するものを次の中から一つ選びなさい。 解答番号は **18**。

- ① 筆者は、歴史を扱う上で重要な三つの主張をしているが、最も重視しているのが歴史が捉え方によって様々な結果になるという点であり、まずはそれを前提とすべきことを説いている。
- ② 筆者は、歴史を考える上で時間的な概念はないがしろにできないと述べているが、事実の抽象化にも注意が必要のように、時間に関しても同様に慎重に扱うべきであると注意を促している。
- ③ 筆者は、歴史は具体的な事実を抽象化して構築するものであると主張しているが、実際には抽象から具体という過程であると一般的に考えられているので、それについて不満を感じている。
- ④ 筆者は、歴史は実際に起こった事実を重視するけれども、それらの事実を、誰もが等しく可能であるような、無機的な羅列によって紡がれるものでは決していないということを述べている。
- ⑤ 筆者は、歴史を地理的な横糸と時間的な縦糸による織物にたとえているが、その糸の太さや長さこそが研究者の個性であり、それによって歴史そのものの定義も変わってくると展望している。

三

漢字・語句について、次の問いに答えなさい。

問 A～Hの各傍線部に相当する漢字を含むものはどれか。また、I～Jの空欄に入れるのに最も適当な語句はどれか。それぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は **19** ～ **28**。

A 利益を社会にカ|ン|ゲンする。 **19**

- ① 彼の発表はアッ|カ|ン|だった。
- ② カ|ン|セイな住宅街を歩く。
- ③ 証言がイッ|カ|ン|性に欠ける。
- ④ 母のカ|ン|レキを祝う。
- ⑤ 血液がジュ|ン|カ|ン|する。

B 学術論文は研究活動のショ|サ|ンである。 **20**

- ① ショ|ウ|ボウ|ショ|が防火点検を行う。
- ② 宇宙探査のタ|ン|ショ|につく。
- ③ 医師がショ|ケ|ンを記入する。
- ④ ショ|ジ|万端整いました。
- ⑤ ショ|ミ|ンの暮らしはつつましい。

C 悪貨は良貨をク|チ|ク|する。 **21**

- ① 協約をチ|ク|イ|チ|審議する。
- ② 学舎をゾウ|チ|ク|する。
- ③ 北海道はチ|ク|サ|ン|が盛んである。
- ④ ハチ|ク|の勢いで快勝する。
- ⑤ 建設資金をチョ|チ|ク|する。

D 少子化にハ|ク|シ|ヤ|がかかる。 **22**

- ① 子役のハ|ク|シ|ンの演技に見入る。
- ② 立ち上がってハ|ク|シ|ユ|する。
- ③ ハ|ク|ジョ|ウ|な仕打ちを受けた。
- ④ 自分のしわざだとハ|ク|ジョ|ウ|する。
- ⑤ 彼女はハ|ク|ガ|ク|な人だ。

E フ|ク|ショ|ウ|は伝達確認の基本である。 **23**

- ① シフ|ク|の許す限り詳述する。
- ② コウフ|ク|追求権は誰にでもある。
- ③ 敵にホウフ|ク|する。
- ④ フ|ク|スイ|盆|に返らず。
- ⑤ 今はフ|ク|ガ|ン|的思考が大切だ。

F 必勝をキ|ガンする。 24

- ① 平和をキ|ネンする。
④ 周回キ|ドウから大気圏に突入する。
⑤ 試合前に選手がキ|ケンした。
③ 開会式でキ|シュを務める。
② キ|バセンで運動会が白熱する。

G 長い物語をツム|ぐ。 25

- ① ビボウ|ロクに記入する。
④ 生物のカイボウ|実験。
② 仕事にボウ|サツされる。
⑤ 綿とウールのコンボウ|。
③ 流行性のカンボウ|。

H 水深をハ|かる。 26

- ① ニソク|三文の価値もない。
④ オクソク|に基づく報道。
② 成長をソク|シンさせる。
⑤ 一触ソク|ハツの状態。
③ ヘンソク|的な動詞の活用。

I 三寒| は元来、大陸の冬を言い表す。 27

- ① 三雪
② 四温
③ 五暖
④ 七涼
⑤ 霧中

J 舌の| の乾かぬうちに約束をたがえては困る。 28

- ① 先
② 中
③ 根
④ 裏
⑤ 奥

(問題 終わり)

（
余
白
）